

**【Veeam Backup & Replication】
テープバックアップ簡易マニュアル
(RDX QuickStation 使用例)**

Ver 1.2

2013 年 10 月 23 日

株式会社クライム

目 次

1. はじめに.....	2
1.1. 本ドキュメントについて.....	2
1.1.1. 範囲.....	2
1.1.2. 対象バージョン.....	2
1.2. 更新履歴.....	2
2. テープデバイスの接続.....	3
3. テープデバイスの準備.....	5
3.1. テープの識別.....	5
3.2. メディアプールの作成.....	6
4. テープへのバックアップ.....	7
5. テープからのリストア.....	8

1. はじめに

1.1. 本ドキュメントについて

1.1.1. 範囲

本ドキュメントは、テープデバイスへの二次バックアップを実行する操作手順を記載しております。テープデバイスにはタンベルグデータ社の **RDX QuickStation** を使用しております。

また、**Storage Loader LTO5** でも同様の手順で正常に動作することを確認いたしました。

1.1.2. 対象バージョン

本ドキュメントは、Veeam Backup & Replication の下記バージョンを対象としております。

- Veeam Backup & Replication 7.0.x

1.2. 更新履歴

版	修正日	修正者	内容
1.0	2013/10/23(水)	Y.F	初版
1.1	2013/10/24(木)	Y.A	画像等を追加
1.2	2013/10/28(月)	Y.A	文言修正

2. テープデバイスの接続

Veeam Backup & Replication は Veeam Backup サーバに直接接続されたテープデバイスを使用できます。テープデバイスは、ファイバチャネル(FC)、シリアル・アタッチド SCSI(SAS)、SCSI 経由で接続することができます。また、Veeam Backup サーバ上で Microsoft iSCSI イニシエーターを使用して、iSCSI 経由でリモートサーバ上のテープデバイスに接続することもできます。

物理/仮想テープライブラリとスタンドアロンドライブをサポートしています。

本ドキュメントでは、テープデバイス **RDX QuickStation** に iSCSI イニシエーターを使用して、iSCSI 経由で接続しています。

RDX QuickStation の Web 管理画面

The screenshot displays the RDX QuickStation Web Management Interface. At the top, there is a navigation bar with the RDX logo and 'TANBERG DATA Securing your Information'. Below this, a dashboard shows a grid of tape drive docks labeled ドック04 through ドック08. The dock containing the tape with ID 649053L3 is highlighted. Below the dashboard, there are tabs for '物理デバイス' (Physical Device) and '論理デバイス' (Logical Device). The '論理デバイス' tab is active, showing a tree view of 'iSCSI デバイス' (iSCSI Devices) under 'StorageLoader LTO'. The selected device is 'テープドライブ1 (ドック02)'. A detailed configuration window for this device is open, showing the following properties:

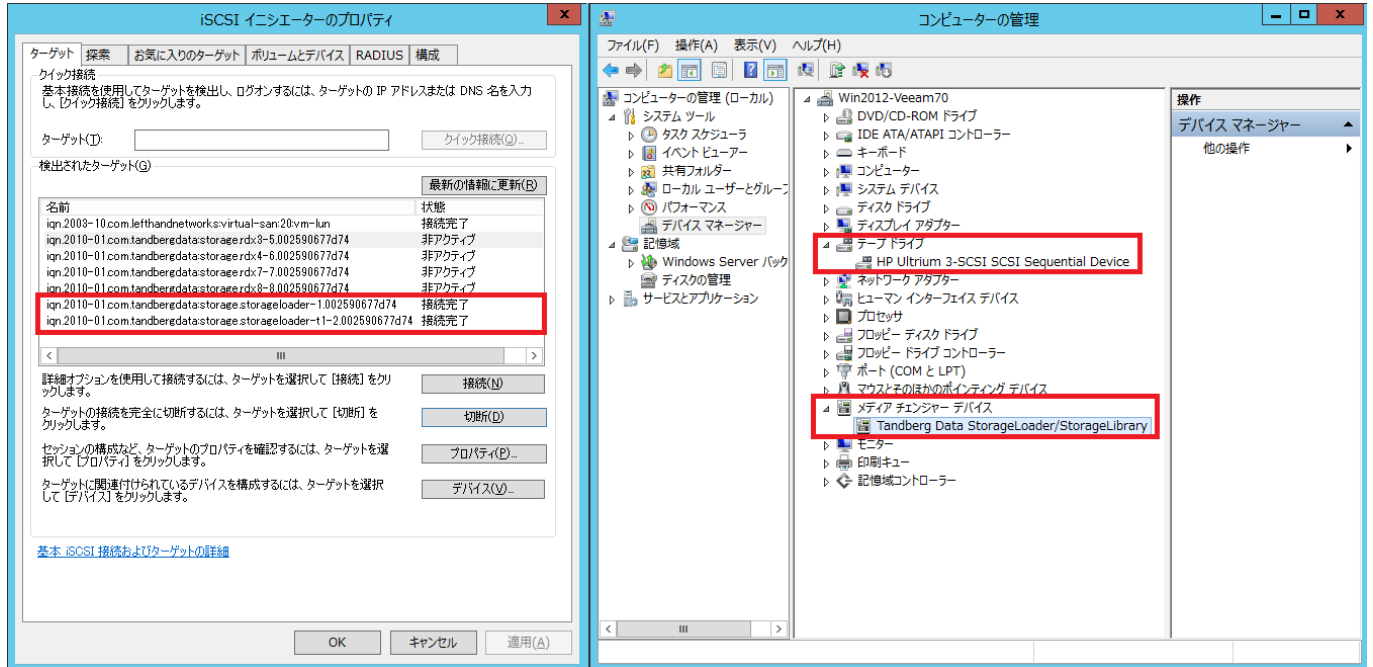
プロパティ名	プロパティ値
エレメントアドレス	81
ベンダー	HP
製品	Ultrium 3-SCSI
リビジョン	D237
シリアル番号	90677D74T111
iSCSI名	iqn.2010-01.com.tandbergdata.storage.storage-loader-11
ターゲットID/LUN	2/0
ステータス	良好
メディアラベル	649053L3
メディア使用状況	103/500GB (20.57%)
メディアの状態	ロードされています

At the bottom of the interface, there is a language dropdown menu set to '日本語'.

【Veeam Backup & Replication】 テープバックアップ簡易マニュアル

この際、テープとデバイスの両方に接続する必要があります。テープデバイスに接続すると、Windows のデバイスマネージャーにテープドライブ、メディアチェンジャーが表示されます。Windows に接続し、デバイスマネージャーに表示されたテープが Veeam B&R で使用可能なテープとして検出されます。

テープに必要なドライバが Veeam Backup サーバにインストールされていない場合、テープメディアが Veeam B&R に認識されませんのでご注意ください。



3. テープデバイスの準備

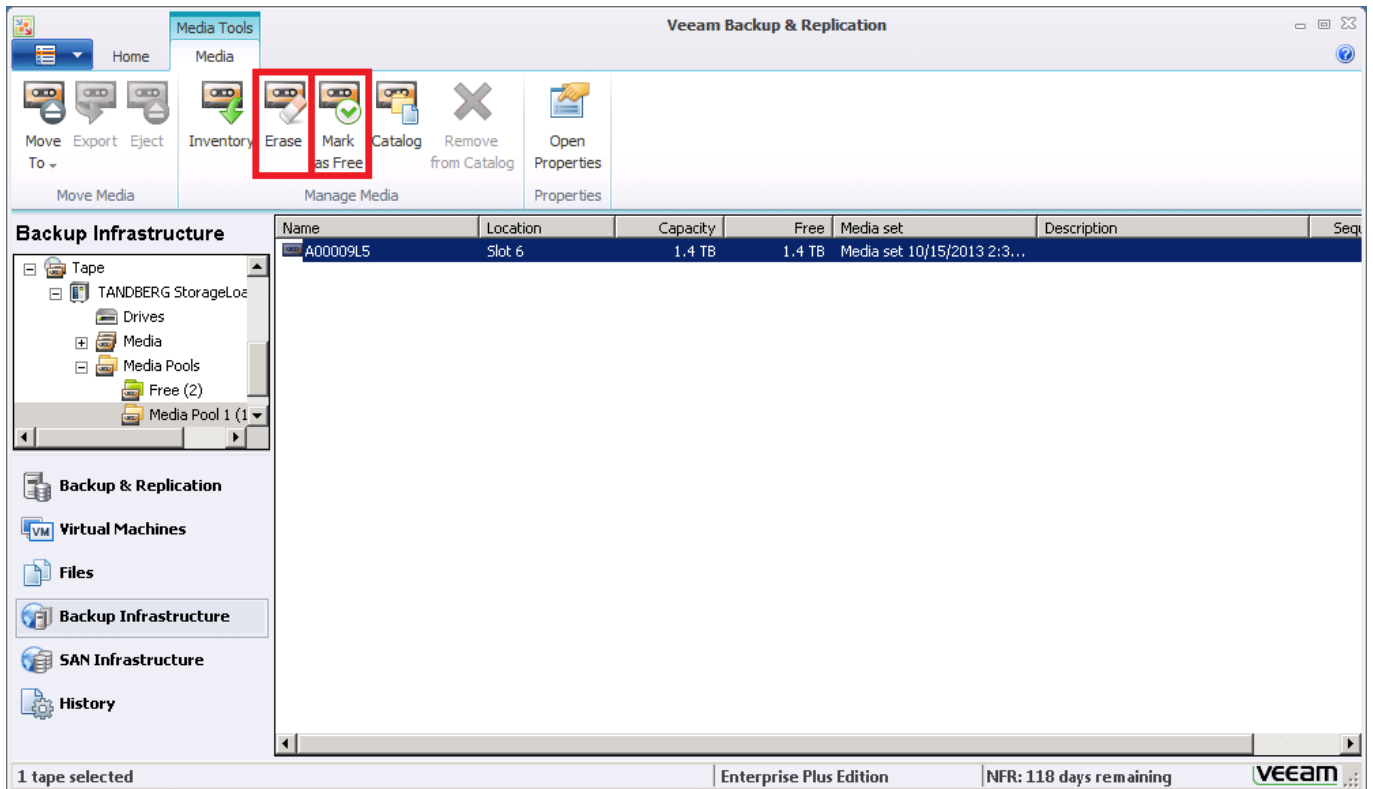
テープデバイスを Veeam Backup & Replication に認識させただけでは、バックアップ先としてはまだ使用できません。保存先となるメディアプールを作成する必要があります。

3.1. テープの識別

Veeam B&R で新しくロードされたテープは、**Unrecognized** メディアプールに追加されます。このままではデータの保存先として利用できないため、テープカタログジョブを実行し、テープを識別する必要があります。識別されたテープは下記メディアプールに移動します。

- **Free**
空のテープを含むメディアプール。
- **Unrecognized**
インベントリまたはカタログジョブによって識別されていないテープを含むメディアプール。
- **Imported**
テープインベントリまたはカタログジョブによって識別された空ではないテープを含むメディアプール。
- **Retired**
再書き込みの最大数に達したテープを含むメディアプール。

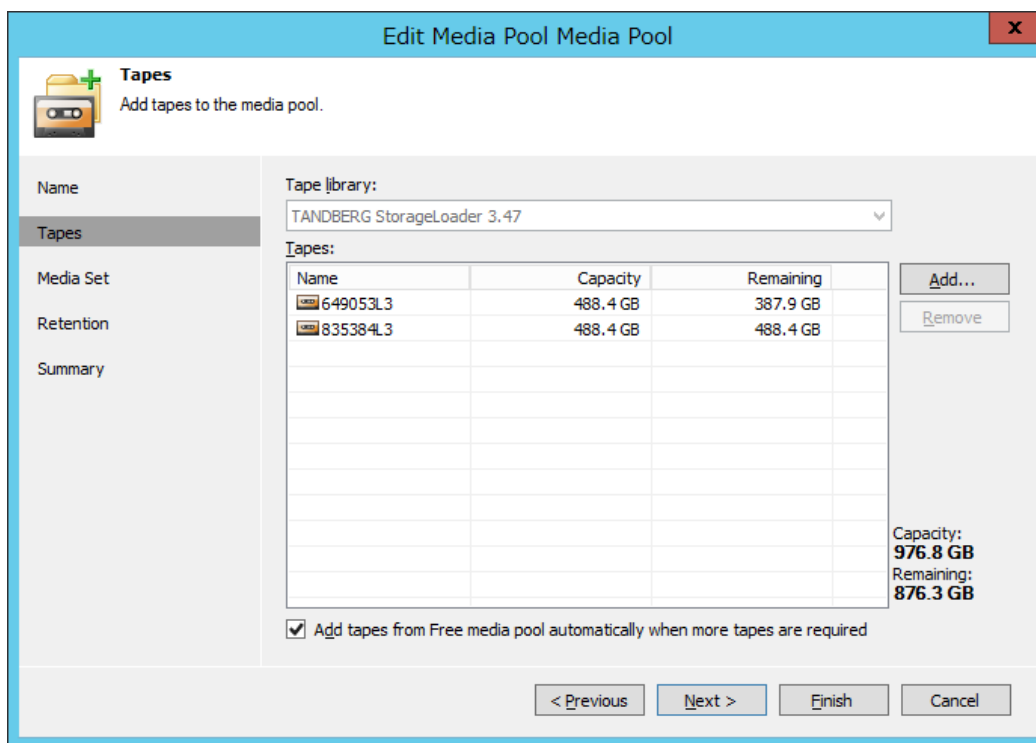
もし、既に保存されているファイルが必要ないときは、**Erase** をクリックしてテープに保存されたファイルを消去するか、**Mark as Free** をクリックして空のテープとして扱います。



3.2. メディアプールの作成

識別されたテープをもとにカスタムメディアプールを作成することで、バックアップ保存先として使用可能になります。メディアプールでは下記の設定を行います。

- 使用するテープを指定します。複数選択可能です。
- メディアセットの作成方法を設定します。
 - ・ 一つのメディアセットのみ作成します。
 - ・ バックアップセッションごとにメディアセットを作成します。
 - ・ 指定した日時に定期的にメディアセットを作成します。
- メディアプールの容量がなくなった場合の上書きルールを指定します。
 - ・ 最も古いファイルを保存しているテープから上書きします。
 - ・ ファイルを一定期間保持し、期間終了後古いファイルを保存しているテープから上書きします。
 - ・ テープに上書きを行いません。



4. テープへのバックアップ

Veeam Backup & Replication では、バックアップリポジトリに保存されたバックアップファイルと、Windows や Linux のファイルのような通常のファイルをテープに保存できます。オプションには以下のものがあります。

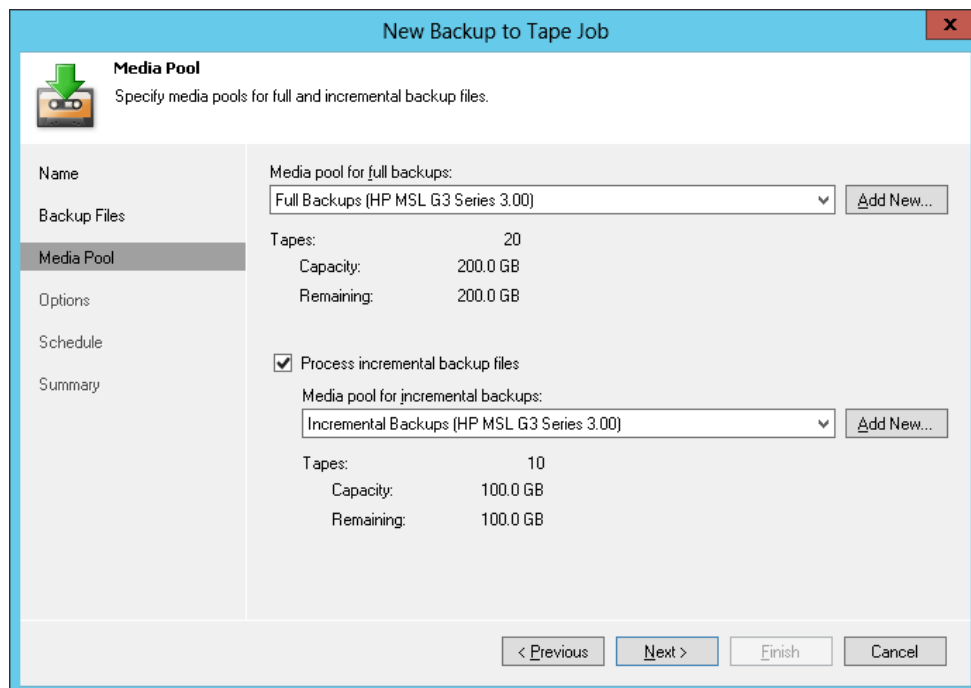
- **Backup to tape jobs**

Veeam B&R によって作成されたバックアップファイルをテープメディアに保存するものです。Backup to tape jobs を使用して、データ保護と災害復旧のためのベストプラクティスとして見なされている'3-2-1'バックアップ方法(3 コピー、2 種類のメディア、1 箇所のオフサイト)を実現することができます。Veeam B&R は、バックアップファイルの保存を自動化するのに役立つ柔軟な保持方法とスケジュール設定を提供します。

- **Files to tape jobs**

Veeam Backup サーバに接続されている Windows と Linux サーバからテープメディアへファイルを保存することができます。テープ上にファイルのフルバックアップと増分バックアップの両方を作成することができます。

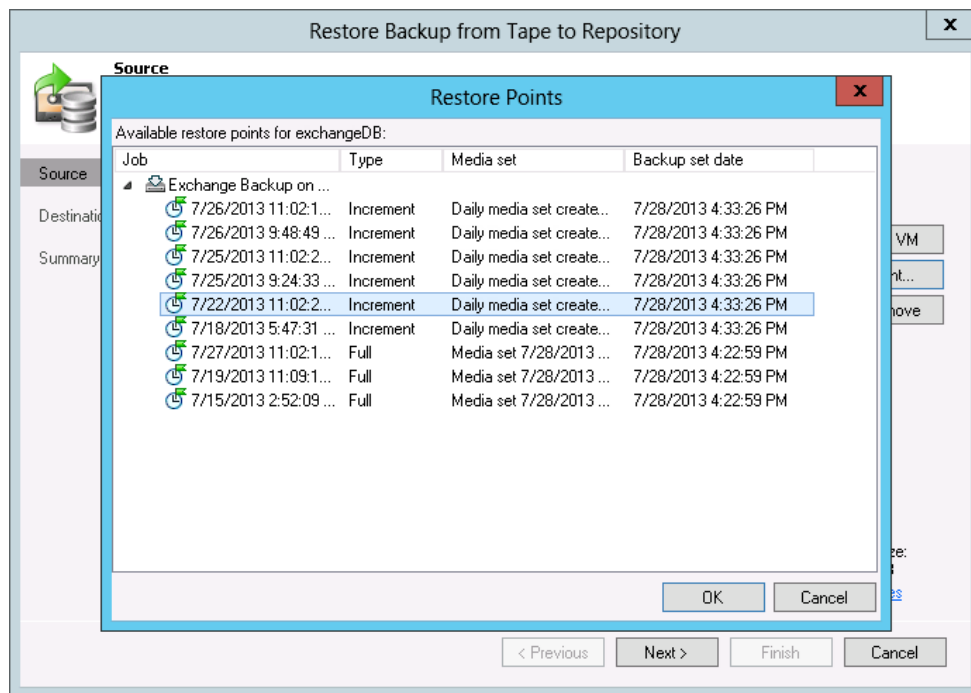
Veeam B&R は、テープにデータを書き込むために MTF(Microsoft Tape Format)の形式を使用します。これは、データの互換性を確保し、Veeam B&R がサードパーティ製のツール(たとえば、NT バックアップ)でテープに保存されたファイルを復元することができます。



5. テープからのリストア

テープに保存したデータをリストアする方法として、複数のオプションが提供されています。

- **Restoring backup files from tape to disk**
リポジトリや任意の場所にフルバックアップファイルやバックアップチェーンごと復元できます。
- **Restoring VMs from tape into the virtual infrastructure**
テープ上のバックアップアーカイブから仮想マシン全体を復元できます。Veeam Backup & Replication は、リストアポイントの選択や、ターゲットの選択、仮想マシン構成設定の変更などを含む通常のフル仮想マシン復旧で使用可能なすべてのオプションをサポートしています。
- **Restoring files and folders from tape to the original location or to another directory**
柔軟なリカバリオプションは、所有権とアクセス権を保持した状態で、元の場所または別のサーバに戻して、ファイルやフォルダを復元することができます。Veeam B&R 自体や任意のサードパーティ製のバックアップアプリケーション(ネイティブの MTF 形式を使用してバックアップされたファイルを提供)によって保存されたファイルやフォルダを復元することもできます。



このドキュメントに記載されたイラスト・写真・
文章の無断転載を禁じます。